

平成 1 8 年度 指定管理者モニタリングレポート

施設名	四日市市文化会館
所在地	四日市市安島 2 丁目 5 - 3
指定管理者	名称 財団法人 四日市市文化振興財団 代表者 理事長 山本 雅昭 住所 四日市市安島 2 丁目 5 - 3
モニタリングの実施方針・方法等	本施設の管理運営業務の確認にあたっては、管理運営状況を事業報告書、実地調査、利用者アンケート、指定管理者へのヒヤリング等により把握しました。その後、指定管理者の選定に用いた選定基準等に示された項目ごとに、次葉の通り、具体的な業務の履行状況等についての確認結果をコメントしたうえで、「モニタリングの総合コメント」及び「今後の業務改善に向けた考え方」を記載しました。
担当部課（問合せ先）	市民文化部 市民文化課 TEL : 0 5 9 - 3 5 4 - 8 2 3 9 E - mail : shiminbunka@city.yokkaichi.mie.jp

モニタリングの総合コメント

文化会館の管理運営状況については、施設の目的を十分達成し、指定管理者導入の目的である市民サービスの向上と経費の削減も果たしています。また、施設の維持管理も適切に行われていることから総合的に判断して良好と評価します。

市民の文化・教育・福祉等の増進を図るという目的に沿って、文化活動のための施設の提供・文化活動に関する情報の提供・文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われており、計画どおり運営され、延べ利用者数、使用料収入とも当初計画を上回りました。

業務内容については、条例・規則を遵守し、募集要項、仕様書等に定める業務を適正に実施されました。

施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。ただ、施設使用申込方法について、もう少し公平性を期すためにも検討の余地があります。利用者数・自主事業参加者数も当初見込みより増加し、管理経費についても予算の範囲内で効率的に執行されていました。

自主事業については、平成 1 7 年 3 月に策定された四日市市文化振興ビジョンの基本目標と基本方向に基づき、従来の事業を生かしながら、次代を担う人材の育成に力をいれ学校教育の中で芸術・文化に触れる機会の充実に努めるなど、計画どおり実施されていました。アウトリーチ事業の実施や、民間団体とタイアップして事業を実施するなど、利用者から好評を得たものが多く、事業数を増やすとともに内容も充実し、市民の種々の要望に応えることができたといえます。

今後の業務改善に向けた考え方

市民のための文化会館であることを第一に、利用しやすく、安全で安心な施設であるとともに、文化に親しんでいただける憩いの場となるよう更に工夫する必要があります。

施設・備品の管理状態も良好で、接客等の対応も利用者アンケートからも満足のものと思われます。自主事業も目標をもって行っており、内容も充実していたと思われます。ただ、施設使用申込方法について、利用者満足度を高めるためにも、今後検討する必要があります。

全体的にみて、施設の利用率も高く、利用者の満足度も高いですが、サービス対象を現時点での利用者だけにとどまらず、もっとさまざまな需要を緻密に拾って、柔軟かつ迅速に対応できる体制をつくっていただくよう検討する必要があります。

基本的な考え方（施設の性格・目的等との合致、市民の平等な利用の確保、施設の効用発揮）

合目的性・公平性・効果性

市民の文化・教育・福祉等の増進を図るという目的に沿って、文化活動のための施設の提供・文化活動に関する情報の提供・文化事業の企画及び実施など適切に管理運営が行われていました。施設運営や利用者への対応については、市民が公平・平等に利用できるよう規定に基づき運用されていました。ただ、施設使用申込方法について、もう少し公平性を期すためにも検討の余地があります。利用者数・自主事業参加者数も当初見込みより増加し、管理経費についても予算の範囲内で効率的に執行されていました。

業務内容

機能性・独創性（事業への具体的な取組み方）

平成17年3月に策定された四日市市文化振興ビジョンの基本目標と基本方向に基づき、従来の事業を生かしながら、次代を担う人材の育成に力をいれ学校教育の中で芸術・文化に触れる機会の充実に努めるなど、計画どおり実施されていました。アウトリーチ事業の実施や、民間団体とタイアップして事業を実施するなど、事業数を増やすとともに内容も充実し、市民の種々の要望に応えることができたといえます。

責任性・実行性（施設の運営体制や組織）

運営状況については、職員の勤務体制や開館時間を遵守し適切に運営されていました。施設の維持管理についても計画通り実施されていました。

明瞭性・規律性（適正な事務や経理）

入場料等の収入や、需用費や委託料等の支出について適正に処理され、領収書や経理関係調書も整理されていました。施設の保守点検等に関する報告書類も整理されていました。

安全性（安全管理、緊急時等の対応）

事件・事故や災害等の各種対応マニュアルを作成し、訓練を実施されていました。個人情報保護についても研修会を行い、犯罪防止・秘密保持に努めています。損害賠償責任保険の加入もされていました。

社会性（環境等への配慮）

不要個所の照明の消灯や清掃時の節水等の省力化、障害者利用についての対応、廃棄物の分別化について、それぞれ創意工夫をして実施されていました。

事業収支

経済性

事業収支について当初計画の範囲内において適正に執行されました。

団体の経営状態

経営の健全性

指定管理者から提出された財務状況について「事業報告書及び決算報告書」を分析した結果、特に大きな課題や問題はないと判断しました。

施設概要調書

1. 施設の概要

平成18年度

施設名	四日市市文化会館		所管課:市民文化課
所在地	四日市市安島2丁目5-3		設置年月:昭和57年8月1日
設置目的	市民の文化、教育、福祉等の増進に資するため		
設置の根拠 (法令、条例等)	四日市市文化会館の設置及び管理に関する条例		
施設の概要		敷地面積 (㎡)	20,681
		延床面積 (㎡)	13,863
	設備の概要	第1ホール 収容人数 1,816人 第2ホール 収容人数 609人 第3ホール 収容人数 300人 第4ホール 収容人数 400人 展示室 第1展示室・第3展示室・第4展示室・常設展示室 会議室 第1会議室・第2会議室・第3会議室・和会議室 練習室 第1練習室・第2練習室・第3練習室 リハーサル室 第1リハーサル室・第2リハーサル室 駐車場 約400台	
	事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・文化活動のための施設の提供に関すること ・文化活動に関する情報の提供に関すること ・文化事業の企画及び実施に関すること ・その他会館の設置目的を達成するために必要な事業に関すること 	

2. 運営状況

項目	実施計画	実施内容 (事業報告書)
開館日数	315日	315日
開館時間	9:00~22:00	9:00~22:00
受付時間	9:00~18:00	9:00~18:00
自主事業開催	61件	63件

3. 利用実績

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)
自主事業参加者数		13,500人	16,608人
施設別 利用件数	第1ホール	-	125件
	第2ホール	-	203件
	第3ホール	-	323件
	第4ホール	-	518件
	第1会議室	-	263件
	第2会議室	-	572件
	第3会議室	-	505件
	和会議室	-	532件
	第1リハーサル室	-	444件
	第2リハーサル室	-	603件
	第1練習室	-	421件
	第2練習室	-	456件
	第3練習室	-	413件
	第1展示室	-	93件
	第3展示室	-	89件
	第4展示室	-	95件
	合計	-	5,655件
施設別 来館者数	第1ホール	-	12,9057人
	第2ホール	-	74,381人
	第3ホール	-	35,679人
	第4ホール	-	25,316人
	第1会議室	-	4,398人
	第2会議室	-	12,319人
	第3会議室	-	9,210人
	和会議室	-	5,308人
	第1リハーサル室	-	13,963人
	第2リハーサル室	-	16,375人
	第1練習室	-	9,759人
	第2練習室	-	6,084人
	第3練習室	-	5,430人
	第1展示室	-	46,030人
	第3展示室	-	22,490人
	第4展示室	-	8,242人
	合計	400,000人	424,041人

4 . 事業収支

(単位 : 円)

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)
貸館使用料収入		68,549,000	84,011,380
事業収入	管理受託収入 (指定管理料)	318,262,000	318,262,000
	事業受託収入	3,800,000	3,800,000
	入場料等収入	66,626,000	47,586,591
	広告収入	6,146,000	3,641,500
	刊行物販売収入	510,000	809,327
補助金収入		6,000,000	1,500,000
雑収入	受取利息	16,000	24,000
	雑収入	998,000	1,760,326
特定預金取崩収入	退職手当預金 取崩収入	11,918,000	17,684,022
基本財産運用収入	基本財産利息 収入	6,000	12,000
当期収入合計		414,282,000	395,079,766
前期繰越収支差額		0	39,940,418
収入合計		414,282,000	435,020,184

項目		実施計画	実施内容 (事業報告書)
管 理 費	報酬	900,000	900,000
	給料	46,371,000	45,882,792
	手当	32,000,000	32,325,922
	退職手当	11,918,000	17,684,022
	福利厚生費	18,530,000	17,372,441
	嘱託員報償金	3,203,000	3,060,667
	臨時雇賃金	10,297,000	9,526,088
	会議費	556,000	233,669
	旅費交通費	1,085,000	766,550
	交際費	39,000	46,320
	通信運搬費	2,172,000	1,809,352
	消耗什器備品費	80,000	0
	消耗品費	5,081,000	4,441,298
	修繕費	10,200,000	8,537,409
	印刷製本費	8,463,000	5,526,786
	燃料費	122,000	93,253
	光熱水費	38,067,000	36,702,705
	賃借料	10,602,000	8,117,388
	保険料	400,000	464,790
	諸謝金	6,284,000	6,298,493
	手数料	2,149,000	1,268,387
	租税公課	10,317,000	18,720,600
	負担金	1,624,000	2,617,900
	委託料	180,542,000	144,148,284
	広告宣伝費	4,820,000	2,008,904
雑費	1,000	29,105	
特定預金支出	退職手当 預金支出	6,459,000	13,878,906
予備費		2,000,000	0
支出計		414,282,000	382,462,031
収支差額		0	52,558,153